

第二回 スマート・エイジング 学際研究重点拠点シンポジウム



平成 29 年 3 月 10 日(金)9:30~12:40

東北大学加齢医学研究所スマート・エイジング棟 1 階 国際会議室

平成 28 年 10 月より発足したスマート・エイジング学際研究重点拠点は、スマート・エイジングの実現という目標に向けて、基礎生命科学から人文社会科学に渡る様々な学問領域が一丸となって予防医学の発展、介入・補助技術の開発、医療制度・社会制度の改革に資する研究を目指します。

第二回となったシンポジウムでは、拠点のこれまでの取組みと、今後の展開を紹介します。拠点関係研究者による、社会への出口を見据えた発表をぜひお聞き下さい。多くのご来場をお待ちしております。なお、本年 4 月より、スマート・エイジング学際重点研究センターに改組されることになりました。

プログラム

9:30	ご挨拶	研究担当理事	伊藤 貞 嘉
9:40	スマート・エイジング学際研究重点拠点の進捗と今後の予定	拠点長加齢医学研究所 所長	川 島 隆 太
9:50	拠点関係研究者の講演		
	講演 1 予防予測医学研究部門 「認知症リスクの社会的決定要因」	大学院歯学研究科国際歯科保健学分野 准教授	相 田 潤
	講演 2 加齢経済社会学研究部門 「高齢化と医療・介護の社会的費用について」	大学院経済学研究科高齢経済社会研究センター 特任助教	林 承 煥
	講演 3 人間福祉工学研究部門 「サイバー医療 — 「VR 足こぎ車いす」 から「魔法の鏡」 まで—」	人間福祉工学研究部門長サイバーサイエンスセンター先端情報技術研究部 教授	吉 澤 誠
11:20	休憩		
11:30	講演 4 生体防御システム研究部門 「酸化ストレス応答機構 KEAP1-NRF2 制御系による細胞増殖・分化制御と細胞老化」	加齢医学研究所遺伝子発現制御分野 博士研究員	村 上 昌 平
	講演 5 認知脳機能研究部門 「生活介入による認知機能・精神的健康の向上のためのグローバル・アプローチ」	学際科学フロンティア研究所 助教	野 内 類
12:30	閉会のご挨拶	副拠点長加齢医学研究所機能画像医学研究分野 教授	瀧 靖 之

スマートに老いて行ける社会をめざして

認知症はその予備軍を含めると世界じゅうに 800 万人以上の患者があり、経済的損失は 50 兆円とも言われています。その一方で、最近の研究の著しい進歩により、早期診断や発症予防は可能になってきました。

いまこそ、理系・人文系の枠を越えてさまざまな学術領域が協調・融合し、認知症克服への力強い一歩を踏み出すときです。

スマート・エイジング学際研究重点拠点 http://www.idac.tohoku.ac.jp/saro_ja_site/

お問い合わせ【事務局】

スマート・エイジング学際研究重点拠点副拠点長
加齢医学研究所機能画像医学研究分野 教授 瀧 靖之
(代) 秘書 星 沙枝子
東北大学加齢医学研究所
〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 4-1
電話番号 : 022-717-8559
E-mail : mailto:saeko.hoshi.c3@tohoku.ac.jp

※学外の方は申込不要です。

学内の方はグループウェア、イベント登録より参加申込下さい。